



よしだつうしん

# 吉田通信

第97号  
【2022年10月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

## ◆自然災害だけでなく感染症に対しても◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第97号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、新型コロナの第7波真っ只中の8月のお盆直前からお盆にかけて、実は吉運堂のとある店舗のスタッフが一人、また一人とコロナに感染、もしくは濃厚接触者になってしまいました。

これまで吉田通信で繰り返し書かせていただきましたが、感染しないためにできる限りの対策はしてきました。それでも、どこからかコロナは入ってきて、そのような状況に…。

お盆前からお盆にかけて特に忙しい時期です。ただ、この様な状況になってしまい、お店を閉めるべきかどうか、とても難しい判断に迫られました。

お盆の時期でなければお店を一時的に閉めていたかもしれません。ただ、時期が時期なだけあり、閉めてしまうと必要とさせていただきますお客様に多大なご迷惑が掛かってしまいます。

それだけはなんとか避けたい、どうにかお店を開けることができないかということで、近隣の店舗から応援で来てもらう形で、お店を開けることになりました。

ただ、どこの店舗も人が余っているわけではなく、なんとか人員のやりくりをして、無事、お店を閉めずにお盆の時期を乗り切ることができました。今年入社の新卒もがんばってもらいました。

今回、スタッフの感染があった店舗というのは運良く近隣にも店舗があり、そのおかげで応援という形で対応はできました。ただ、これが他のお店からだいぶ離れたところにある店舗だったら、開けることができなかったかもしれません。

災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画であるBCP。今後、自然災害だけでなく、コロナのような感染症に対するそれもしっかり考える必要があるなど、今回、痛切に思いました。

感染症は雪害のように毎年来るわけではないと思いますが、今このタイミングでしっかり考える必要があるなど思いました。



## ◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、コロナ前まで私たちは、毎年10月になると有志を募り、だいたい7名くらいで会津若松市へ漆の里山の下草刈りのお手伝いに行っていました。ただ、ここ2年はコロナもあって行くことができておりません。下草刈りをしたあとに現地食べるお蕎麦がまたとても美味しく、なんとか今年は行けたらいいなど思っているところです。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

### 【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）  
生年月日：昭和40年8月21日（O型）  
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）  
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋  
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）  
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史